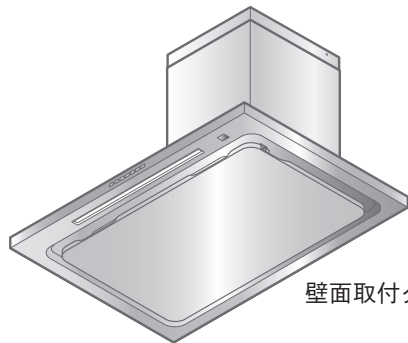


取扱説明書 レンジフード

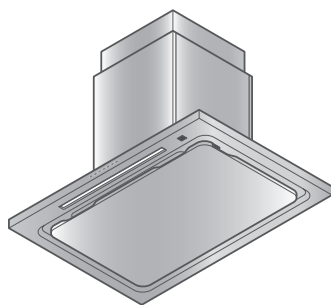
保管用

保証書付

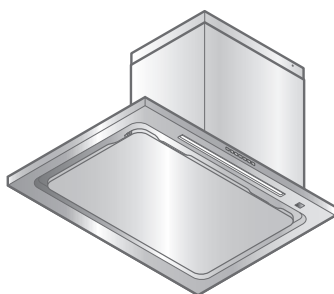
家庭用



壁面取付タイプ



センターフードタイプ



サイドフードタイプ

品番：

S13BHWZF
TW13BHWZF
TE13BHWZF
MW13BHWZF
ME13BHWZF
(壁面取付タイプ)

S15BHWZF
TW15BHWZF
TE15BHWZF
MW15BHWZF
ME15BHWZF
(センターフードタイプ)

S14BHWZFR
TW14BHWZFR
TE14BHWZFR
MW14BHWZFR
ME14BHWZFR
S14BHWZFL
TW14BHWZFL
TE14BHWZFL
MW14BHWZFL
ME14BHWZFL
(サイドフードタイプ)

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ ご使用前にこの取扱説明書・保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全に関するご注意」(2～3ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

■ 保証書(22ページ)に「お引き渡し日・販売店名」などが記入されているか必ず確かめて、販売店からお受け取りください。

■ この取扱説明書・保証書は大切に保管してください。

もくじ

■ 安全に関するご注意	2～3
■ 使用上のご注意	3
■ 各部のなまえ	4～5
■ ご使用まえに	5
■ 使いかた	6～9
操作スイッチ	6～7
換気連動システムとしてご使用の場合	8
タイマー運転	9
切り忘れ防止タイマー	9
■ お手入れのしかた	10～16
整流板	11～12
オイルキャッチ・フード本体	13
ファン・ベルマウス	14～16
連動信号受信部	16
■ 故障かな?	17
■ 仕様	18～20
■ 保証とアフターサービス	21
■ 保証書	22

換気連動システム対応型

このレンジフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。

適応する調理機器については販売店にご確認ください。

販売店・工事店様へ：

この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

1B02 4382



* 1 B 0 2 4 3 8 2 *

安全に関するご注意

必ずお守りください。

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示内容を無視し、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、右の内容で区分し、説明しています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意 取扱いを誤ると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止)



必ず守る

●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

警告			
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●絶対に分解・修理は行わない。 発火や感電、異常動作してケガのおそれがあります。 ●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の修理ご相談窓口へご相談ください。 	 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●分電盤のブレーカーをぬれた手で「切/入」しない。 感電のおそれがあります。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●モーター・スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない。 発火や感電のおそれがあります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず交流 100V で使用する。 守らないと火災の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ガスもれの際は、レンジフード本体のスイッチを入れたり、切ったりしない。 スイッチ火花により、ガス爆発するおそれがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●長期間ご使用にならない時は、分電盤のブレーカーを切っておく。 切らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

注意			
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中は指や物を絶対に入れない。 ケガをしたり、故障の原因となります。 ●調理中は整流板や周辺の部品に手を触れない。 整流板や部品が落下して、やけどやケガをするおそれがあります。 ●レンジフード本体の上に物を置かない。 落下してケガをしたり、火災や故障の原因となります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、必ず厚手のすべらないようなゴム手袋をする。 鋼板の切り口や角でケガをするおそれがあります。 ●本体が確実に取り付けられているか確認する。 取り付けに不備があると落下によるケガのおそれがあります。 ●お手入れの際にははずした部品は、確実に取り付ける。 取り付けに不備があると落下してケガをするおそれがあります。

⚠️ 注意



必ず守る

- お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す。次に必ずスイッチを「ロック」するか、分電盤のブレーカーを切る。

切らずに行うとケガをするおそれがあります。

- 高所に取り付けられている部品のお手入れの際は、必ず安定した台の上に乗って行う。



直視禁止

- 点灯中の LED ランプを直視しない。目を傷めるおそれがあります。



禁止

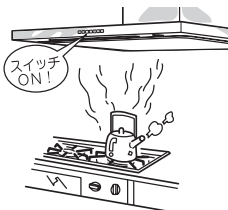
- ランプ周辺には手を触れない。高温になるため、やけどをすることがあります。

- レンジフードにもたれかかったり、ぶら下がったりしない。

レンジフードの破損や変形の原因となります。

使用上のご注意

- 調理機器使用時は、必ずレンジフードを運転してください。また空焚きはしないでください。



- エアコンなどの風が直接当たらないようにしてください。

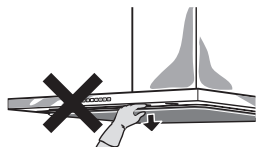
風を受けると、吸い込みが悪くなります。IH 機器は上昇気流がほとんどないため、オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります。

- 整流板をはずして使用しないでください。

吸い込みが悪くなります。

- 整流板に無理な力を加えないでください。

変形し、着脱に支障が発生する場合があります。



- 直射日光のあたる場所など、極端に明るく照らされる場所には設置しないでください。

調理機器側の信号を受信せず、動作しない場合があります。

- レンジフード運転時は、十分な開口面積の給気確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異音がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

- IH クッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前にふき取ってご使用ください。

特に冬季など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください。

- 調理中、油に火がついたときは、運転を停止してください。

レンジフードが動作していると火の勢いがよけいに強くなります。

- 湯沸器はレンジフードから 50cm 以上離してください。

湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けしないでください。製品の損傷や高温による故障の原因となります。

- 受信部と照明器具を近付けすぎないでください。

照明器具が連動信号受信部から 1 m 以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

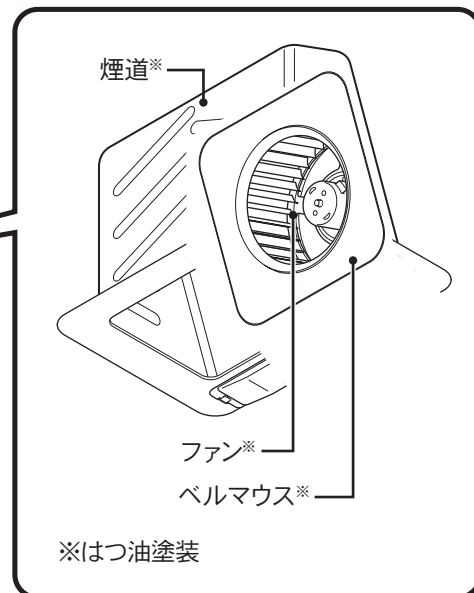
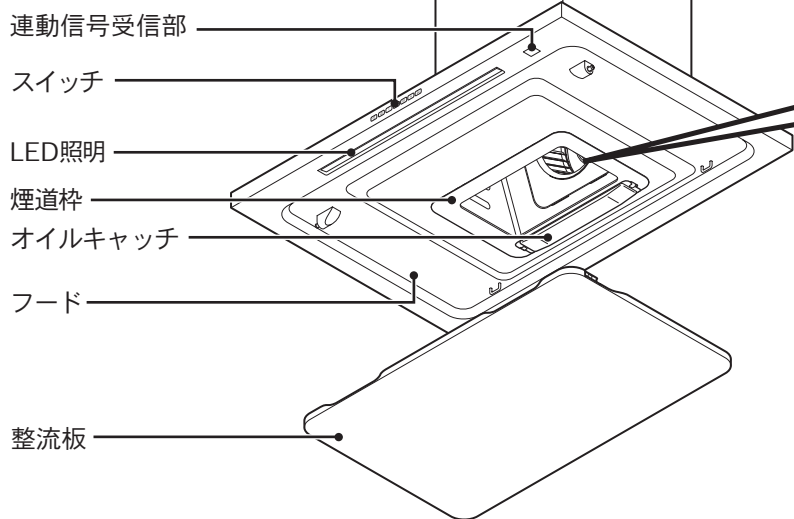
- テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、換気連動システムが正常に動作しない場合がありますが、故障ではありません。

各部のなまえ

本製品は以下に示すように形状により3タイプがあります。
使いかた、お手入れのしかたは3タイプとも同じです。

■ 壁面取付タイプ

S13BHWZF
TW13BHWZF
TE13BHWZF
MW13BHWZF
ME13BHWZF



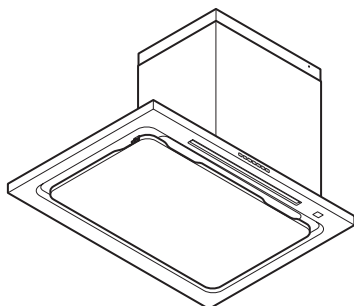
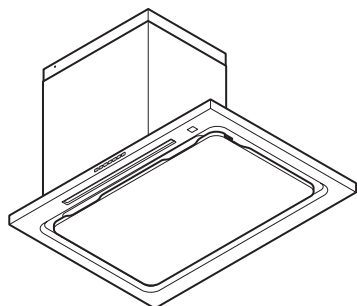
■ サイドフードタイプ

● 左に壁がある場合

S14BHWZFL
TW14BHWZFL
TE14BHWZFL
MW14BHWZFL
ME14BHWZFL

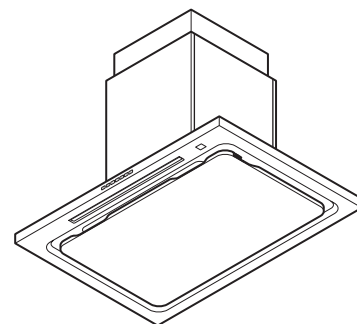
● 右に壁がある場合

S14BHWZFR
TW14BHWZFR
TE14BHWZFR
MW14BHWZFR
ME14BHWZFR



■ センターフードタイプ

S15BHWZF
TW15BHWZF
TE15BHWZF
MW15BHWZF
ME15BHWZF



◆ 連動信号受信部について
換気連動仕様の調理機器やリモコン(別売部品)から発せられた赤外線信号を受信するところです。

ご使用まえに

● オイルキャッチが所定の位置に正しくセットされているか確認してください。

※ 正しくセットされていないと、油や結露水を正しく捕集できません。

● 整流板が正しくセットされているか確認してください。

※ 正しくセットされていないと、落下・吸い込み不良・ファンの汚れが早くなる原因となります。

※ 本体スイッチを押すと、本体より「ピッ」という音がします。



風量スイッチ

いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチが点灯し、その風量で運転を開始します。

- I 「弱」… 煙などが少ないとき、静かに運転したいとき。
- II 「中」… 煙などが少ないとき。
- III 「強」… 煙などが多く出るとき、早く換気したいとき。

タイマースイッチ

運転中にタイマースイッチを押すと、タイマー運転に切り替わります。再度スイッチを押すと、通常運転に変わります。



点滅

切スイッチ

運転中にスイッチを押すと、直ちに運転を停止します。常時換気に設定している場合は常時換気運転に切り替わります。

- スイッチを「ロック」する
(お手入れの際は必ずスイッチを「ロック」してから行う)
スイッチを長押し(約3秒間)すると、操作機能全てを停止し、操作スイッチを「ロック」します。
「ロック」中は と が交互に点滅します。

スイッチのロック



- 「ロック」を解除する
「ロック」中にスイッチを長押し(約3秒間)すると、「ロック」を解除し通常の状態に戻ります。
※ 解除後は必要に応じて各種機能の再操作をしてください。

ロックを解除



スイッチがロックしていると…

操作スイッチを押しても「ピピピッ」と警告音が鳴り、 と が交互に点滅します。操作スイッチの他、調理機器との連動も受け付けません。

常時換気スイッチ

本製品は建築基準法による住宅の常時換気を行う設備として使用できます。調理やお手入れの際を除き、連続換気ができます。

● 常時換気運転を設定する

運転停止中に押しと「ピッ」と音が鳴り、常時換気運転に設定します。設定中は通常運転停止後（運転スイッチ「切」後、タイマー運転後、切り忘れ防止タイマー後）に微弱風量で運転します。

常時換気設定
「オン」



● 常時換気運転を解除する

常時換気運転中にスイッチを長押し（約3秒間）すると「ピッ」と音が鳴り、常時換気運転を停止します。

常時換気設定
「オフ」



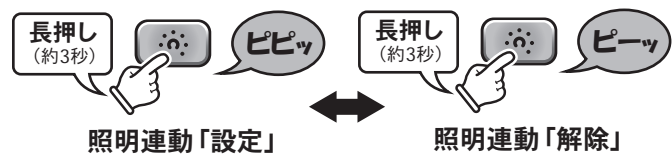
照明スイッチ

● LED 照明を点灯／消灯する

スイッチを押すと照明が点灯します。押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

● 照明連動を設定／解除する（8 ページ参照）

停止または常時換気運転中にスイッチを長押し（約3秒間）すると、「照明連動」を解除します。スイッチを長押しするたびに解除／設定を繰り返します。



常時換気モードについて

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気を行う設備として使用できます。

■ 常時換気設備として使用する場合（フード前面に「24 時間連続換気してください」の24 時間換気お願いラベルが貼ってあります。）

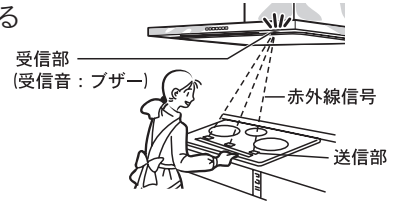
- ・ 調理時やお手入れ時以外は、常に **24** ボタンを押して連続換気を行ってください。

■ 常時換気設備として使用しない場合

- ・ 調理時以外に連続換気する必要はありません。
- ・ 「常時」モードは微弱モードとして「弱」よりも少ない風量で換気したいときにご使用になれます。

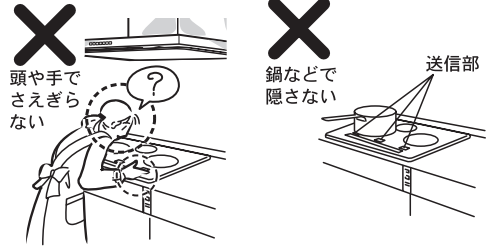
換気連動システムとは

調理機器の送信部から発せられた赤外線信号をレンジフード本体で受信することで、レンジフードの運転/停止、また照明の消灯/点灯を行います。



使用上のご注意

- 換気連動システムとしてご使用になる場合は、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせが必要です。
- 調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
- レンジフードの真下に頭を近づけないでください。
(換気連動システムが正常に動作しないことがあります。)
- 鍋などにより、送信部を隠さないでください。
(換気連動システムが正常に動作しないことがあります。)
- 換気連動システムが正しく動作しているか、風量スイッチをご確認ください。



換気連動システムの基本操作

調理機器の操作	レンジフードの動作		照明
「入」	風量「中」で運転します。	点灯	点灯 ※ 1
「切」	そのままの風量で約3分間運転（タイマー運転）した後、停止します。 ※ 2	点滅 その後消灯	消灯 ※ 3

※ 1 照明連動モードが解除されている場合は、照明は点灯しません。

※ 2 レンジフードが常時換気モードに設定されている場合は、風量「常時」で24時間連続換気を行います。
(レンジフードは停止しません。)

※ 3 手動で運転停止操作を行った場合、連動での照明消灯操作は行われません。

換気連動システムの設定を変更する場合（レンジフードで操作）

使いかたに合わせて、常時換気モードおよび照明連動モードが設定できます。

■ 常時換気モードの設定…初期状態では、常時換気モードは解除されています。

24	設定 →	運転停止中に「常時換気」スイッチを押すと、「ピッ」と音がして、常時換気モードに設定されます。調理機器を切ると、そのままの風量で約3分間運転した後、微弱風量で24時間連続換気を行います。
	解除 →	「常時換気」スイッチを3秒以上押し続けると、「ピッ」と音がして、常時換気モードが解除されます。調理機器を切ると、そのままの風量で約3分間運転した後、停止します。

■ 照明連動モードの設定…初期状態では、調理機器の入・切と連動しています。

	解除 →	「照明」スイッチを3秒以上押し続けると、「ピーッ」と音がして、照明連動モードが解除されます。レンジフード本体スイッチまたは調理機器のスイッチで、照明を点灯/消灯してください。
	再設定 →	「照明」スイッチを3秒以上押し続けると、「ピピッ」と音がして、照明連動モードが再設定されます。

※ 解除および再設定をした後は、照明が点灯している場合があります。照明を消灯する場合は、「照明」スイッチを押してください。

停電や、お手入れ時にブレーカーを切った後など、電源再投入時には設定が初期状態に戻ります。その場合、再度設定をやり直す必要があります。

使いかた

タイマー運転

運転中にタイマー運転に設定すると、その時から3分間運転し続けたあと、自動的に運転を停止します。常時換気に設定している場合は、常時換気運転に切り替わります。調理後のおいを捕集・排出しますので、調理が終わった後にご使用ください。




使いかた

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。常時換気に設定している場合は常時換気運転に切り替わります。再び運転するときは、風量スイッチを押してください。

お手入れのしかた

警告

 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● モーター・スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない。発火や感電のおそれがあります。 	 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤のブレーカーをぬれた手で「切/入」しない。感電のおそれがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気連動システムに対応した調理機器を操作しない。ケガのおそれがあります。 		

※ 換気連動システムとしてご使用の場合、お手入れ後の電源投入時には、システムの設定をご確認ください。(8 ページ参照)

注意

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、必ず厚手のすべらないようなゴム手袋をする。  鋼板の切り口や角でケガをするおそれがあります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す。次に必ずスイッチを「ロック」するか、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。(スイッチの「ロック」方法については6 ページを参照してください。)
	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンや整流板などの部品の取り付けは確実にを行う。 取り付けに不備があると、落下してケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります。 		<p>切らずに行うとケガをするおそれがあります。</p>

お願い

- あまり汚れないうちにお手入れしてください。特にオイルキャッチ、整流板は汚れやすいので、1 ヶ月に1 度程度の頻度でお手入れしてください。期間が長くなると、汚れが落ちにくくなったり、部品がはずれなくなる場合があります。
- お手入れの際は調理をやめ、鍋などはフードの下に置かないようにしてください。
- 高い場所での作業となりますので、足場には十分お気を付けてください。
- 塗装の変質・変色・はがれ防止のため、右のものは使わないでください。シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などは使用しないでください。ツヤがなくなったり、変色や塗装はがれの原因になります。またアルカリ洗剤、弱アルカリ洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用もおやめください。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。(樹脂部品が変形する原因となります。)
- 食器洗い乾燥機では洗わないでください。アルカリ性洗剤を使用しているため、塗装の変質、変色、はがれが生じることがあります。
- 調理直後はフードが熱くなっている場合がありますので、十分温度が下がってからお手入れしてください。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因となります。
- お手入れのあとは必ず、取りはずした部品が正しく取り付けられたことを確認するため、ファンを回して異常がないことを確認してください。



整流板について

整流板のはずしかた

- ※ 調理直後には整流板が熱くなっている場合がありますので、その場合は十分温度が下がってからお手入れしてください。
- ※ 整流板に油や水がたまっている場合には、たれることがありますのでご注意ください。

1. 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押し込んではずします。
2. 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりおろします。
3. 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具から整流板引掛け金具をはずします。
※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。

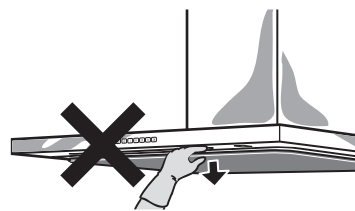
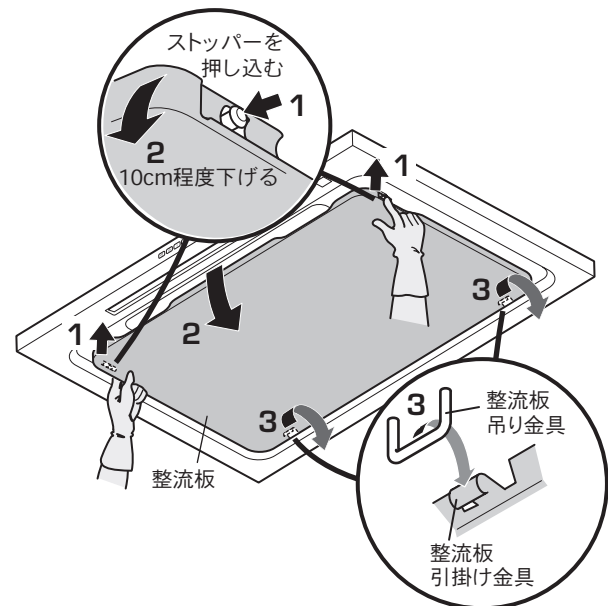
お願い

- 整流板に無理な力を加えないでください。
変形し、着脱に支障がおきる場合があります。
- 整流板のお手入れの際は、整流板や金具を変形させないようにご注意ください。
変形させてしまった場合、整流板の取り付けができなくなるおそれがあります。

⚠ 注意



- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支える。
落下するとケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります。



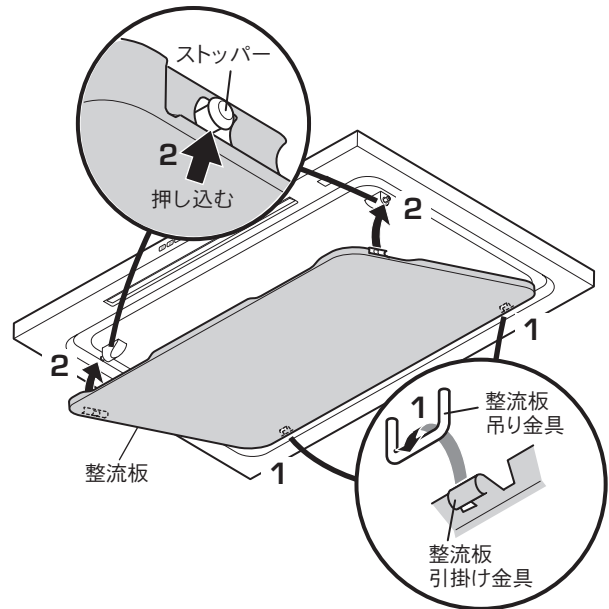
整流板について

整流板の取り付けかた

1. 奥側左右の整流板引掛け金具を、整流板吊り金具に確実に引っ掛けます。

2. 整流板を両手で支えながら手前側を上
に持ち上げ、左右のストッパーを押し
ながらロックします。

取り付け後は整流板を上下に動かし、
はずれないことを確認してください。



お願い

- 整流板の固定は、確実に行ってください。
ロックが不十分ですと落下の原因となります。

■ お手入れのしかた

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安：1 ヶ月に 1 回程度)

お願い

はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。(変形・キズの原因となります。)

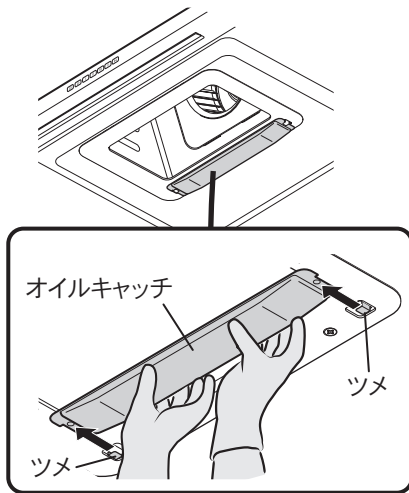
- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

オイルキャッチについて

●ファンに付着した油や水は、オイルキャッチに集まります。

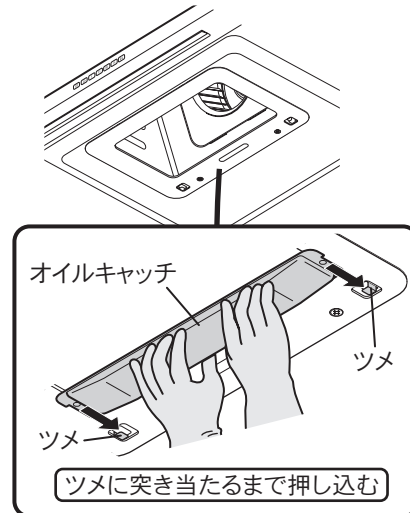
オイルキャッチのはずしかた

1. 整流板をはずします。(11 ページ参照)
2. オイルキャッチの油をこぼさないよう水平に保ちながらゆっくり手前に引いて本体のツメからはずします。



オイルキャッチの取り付けかた

オイルキャッチの両端をツメに引っ掛け、突き当たるまで押し込みます。



■ お手入れのしかた (汚れたらその都度お手入れしてください…目安: 1ヶ月に1回程度)

●柔らかい布などで油をふき取ってから、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいスポンジや布で洗ってください。その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

お願い

- 金属ブラシやたわしなど、キズのつくもので洗わないでください。
- 油がたまりすぎるとあふれたり、取りはずしの際にこぼしたりするおそれがありますので、油がたまりすぎる前にオイルキャッチをはずして油をふき取ってください。
※ご使用状況によっては油がほとんどたまらない場合もあります。
- オイルキャッチをはずした後は、ご使用前に必ず本体に取り付け直してから運転してください。
※正しく取り付けられていないと、油や水滴を正しく集められません。

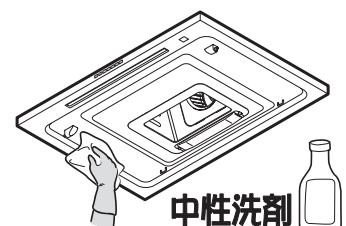
フード本体について

■ お手入れのしかた (目安: 3ヶ月に1回程度)

- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お願い

汚れが目立つ場合は、その都度日常的にお手入れしてください。



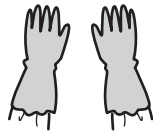
⚠注意



必ず守る

- お手入れの際は、必ず厚手のすべらないようなゴム手袋をする。

落下させ、ケガをすることがあります。



必ず守る

- 高所に取り付けられている部品のお手入れの際は、必ず安定した台の上に乗って行う。

バランスをくずして倒れ、ケガをすることがあります。

ファンについて ※はつ油塗装

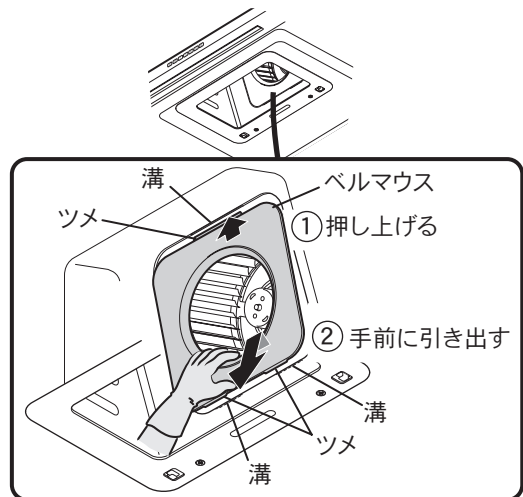
ファンのはずしかた

1. 整流板・オイルキャッチをはずします。

※「整流板のはずしかた」(11 ページ)、
「オイルキャッチのはずしかた」(13 ページ) 参照

2. ベルマウスをはずします。

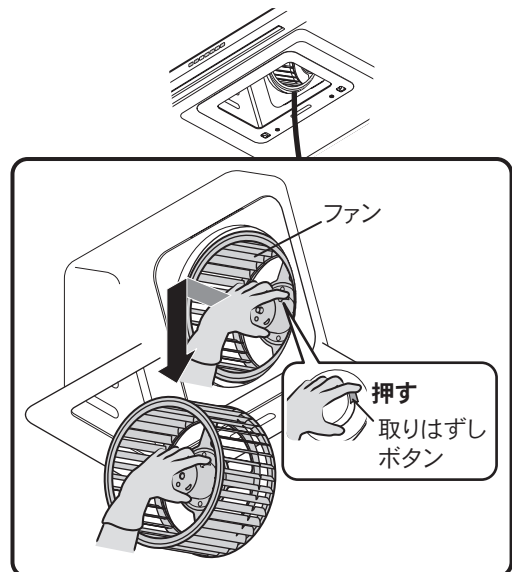
ベルマウスを上を押し上げ (①)、下側を溝からはずし (②)、手前に引き出します。



3. ファンをはずします。

(1) ファン中央側面の取りはずしボタンを押すと、ロックがはずれます。

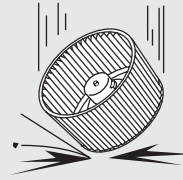
(2) 右図のようにファンの中央部をしっかりと持ち、ファンを引き出します。



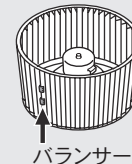
ファンについて ※はっ油塗装

お願い

- ファンをぶついたり、落としたりしないでください。
(変形・破損すると、異音の原因となります。)



- ファンの回転バランスをとるために、バランサー (重り) がついている場合がありますが、絶対にはずしたり、動かしたりしないでください。(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)



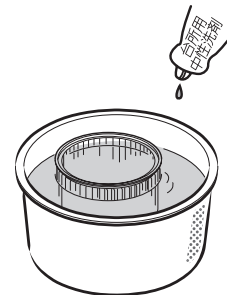
■ お手入れのしかた (目安: 3ヶ月に1回程度)

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジや布に含ませ洗ってください。その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

● 汚れがひどいとき…

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きした後、柔らかいスポンジや布で洗ってください。

※ 汚れを放置すると、異音・換気不良・部品がはずれなくなる原因となります。



ベルマウスについて ※はっ油塗装

■ お手入れのしかた (目安: 3ヶ月に1回程度)

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジや布に含ませ洗ってください。

● 汚れがひどいとき…

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きした後、柔らかいスポンジや布で洗ってください。その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

ファンについて ※はっ油塗装

ファンの取り付けかた

お願い ファンは確実に取り付けてください。
(異音や破損の原因となります。)

1. ファンを取り付けます。

(1) 右図のようにファンの中央をしっかりと持ち、本体開口部にファンを差し入れます。

お願い

ファンを強く押さえたり、ぶつかけたり、落としたりして変形させないでください。(振動や異音の原因になります。)

(2) 取りはずしボタンを押さずにファンを持ち、ファン裏面の溝とモーターのシャフトピンを合わせ、差し込み確認ピン(赤色)が飛び出し、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

取り付け後、少しひっぱり、はずれないことを確認してください。

お願い

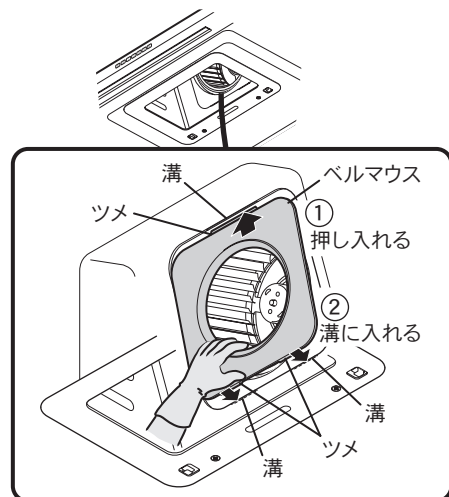
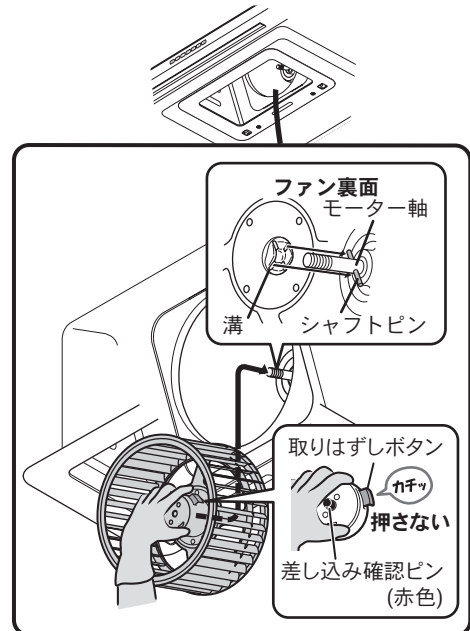
●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。(溝がシャフトピンに合っていないと異音や落下によりケガをするおそれがあります。)

2. ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスを上側の溝へ押し入れ(①)、ベルマウス下側を溝に入れます(②)。

3. オイルキャッチ・整流板を取り付けます。

※「オイルキャッチの取り付けかた」(13 ページ)、
「整流板の取り付けかた」(12 ページ) 参照



■ 連動信号受信部のお手入れ (目安: 月1回程度)

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に浸し、よくしぼってから、汚れをふき取ってください。その後、洗剤が残らないように水を湿らせた布でよくふき取ってください。布はよくしぼってから使用してください。

※油汚れを放置すると、受信性能が低下します。



故障かな？

修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none">● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。● ファンがまわらない。	<ul style="list-style-type: none">● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。● 電源プラグがはずれている。● ロック状態になっている。 (ロック状態でスイッチを押すと「ピピピッ」という音がし、風量スイッチ「弱」「中」が交互に点滅します。)	<ul style="list-style-type: none">● 分電盤のブレーカーを「入」にする。● 電源プラグを差し込む。● ロックを解除する。 (6 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 照明がつかない。	<ul style="list-style-type: none">● コネクターの接触不良か、コネクターがはずれている。● ロック状態になっている。	<ul style="list-style-type: none">● 修理を依頼する。● ロックを解除する。 (6 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 異音がする。	<ul style="list-style-type: none">● ファンの取り付けが十分でない。● 外からの給気が十分でない。● ベルマウスの取り付けが十分でない。● 外風の影響でシャッターの開閉音がある場合がありますが、異常ではありません。	<ul style="list-style-type: none">● ファンを取り付け直す。 (16 ページ参照)● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。● ベルマウスを取り付け直す。 (16 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 吸い込みが悪い。	<ul style="list-style-type: none">● 外からの給気が十分でない。● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。	<ul style="list-style-type: none">● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。● 風があたらないようにする。● 防鳥網をお手入れする。● 修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none">● オイルキャッチに油がたまらない。	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の状況により油がたまらないことがあります。異常ではありません。	
<ul style="list-style-type: none">● 調理機器側との連動機能が働かない。 (ファン運転・照明運転)	<ul style="list-style-type: none">● 赤外線信号の送受信が妨げられている。	<ul style="list-style-type: none">● 信号をさえぎらないようにする。 (8 ページ参照)● 受信部をお手入れする。 (16 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 調理機器側の操作でファンの運転が停止しない。	<ul style="list-style-type: none">● 常時換気モードに設定されている。	<ul style="list-style-type: none">● 設定を解除する。 (8 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 調理機器と連動して照明が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">● 照明連動モードが解除されている。	<ul style="list-style-type: none">● 再設定をする。(8 ページ参照)
<ul style="list-style-type: none">● 調理機器と連動して照明が消灯しない。	<ul style="list-style-type: none">● 手動で運転停止操作を行った。	<ul style="list-style-type: none">● 手動で照明を消灯する。 (8 ページ参照)

処置した後に、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または修理ご相談窓口(23 ページ参照)にお問い合わせください。

仕 様

壁面取付タイプ

品 番	定格電圧 (V)	速度調整	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0 Pa	0 ~ 150 Pa		
S13BHWZF TW13BHWZF TE13BHWZF MW13BHWZF ME13BHWZF	100	強	50	40	—	450	47	25.0
			60					
		中	50	18	300	—	35	
			60					
		弱	50	10	240	—	30	
			60					
		常時	50	6	170	—	24	
			60					

サイドフードタイプ

品 番	定格電圧 (V)	速度調整	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0 Pa	0 ~ 150 Pa		
S14BHWZFR TW14BHWZFR TE14BHWZFR MW14BHWZFR ME14BHWZFR S14BHWZFL TW14BHWZFL TE14BHWZFL MW14BHWZFL ME14BHWZFL	100	強	50	45	—	450	47	25.0
			60					
		中	50	20	300	—	36	
			60					
		弱	50	10	240	—	32	
			60					
		常時	50	6	170	—	24	
			60					

センターフードタイプ

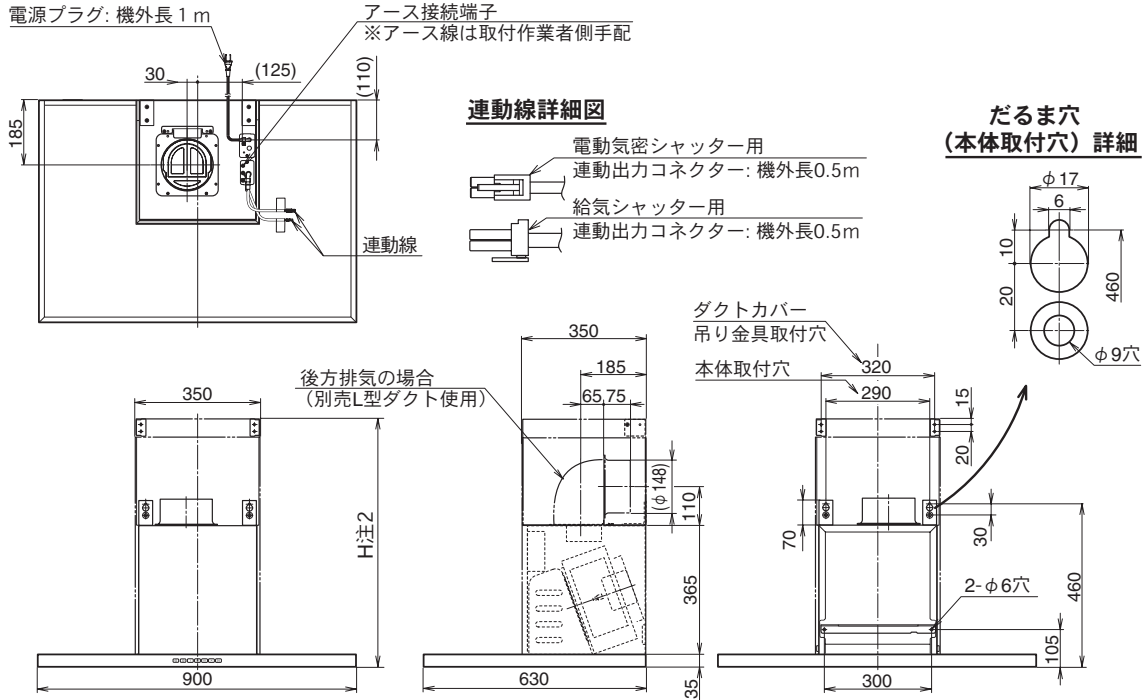
品 番	定格電圧 (V)	速度調整	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0 Pa	0 ~ 150 Pa		
S15BHWZF TW15BHWZF TE15BHWZF MW15BHWZF ME15BHWZF	100	強	50	45	—	450	47	31.0
			60					
		中	50	20	300	—	36	
			60					
		弱	50	10	240	—	32	
			60					
		常時	50	6	170	—	24	
			60					

- 消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。
 - このレンジフードは、使用していないときでも約 3W の電力を消費しております。
 - LED 照明の消費電力は 10.5W です。
- ※レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

仕様 (続き)

■ 姿図 (単位: mm)

壁面取付タイプ



別売ダクトカバー使用時寸法

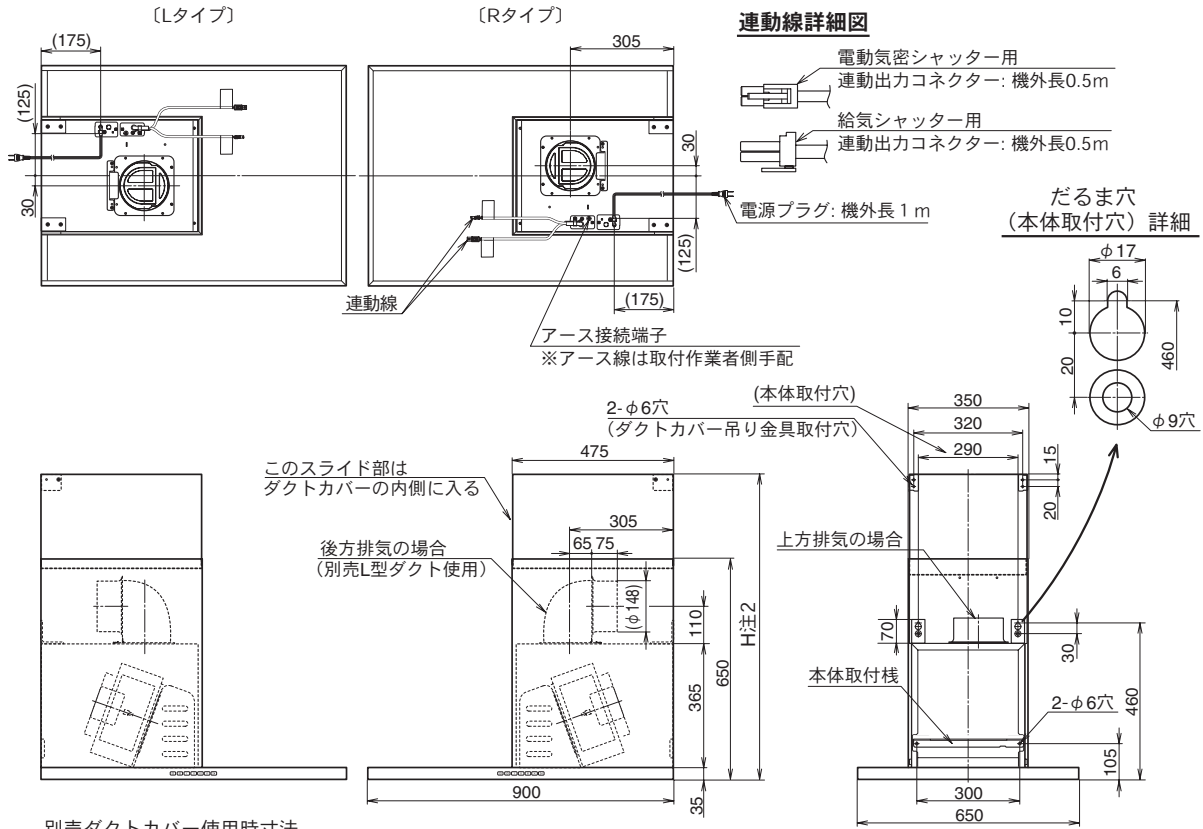
型名	H寸法
S/TW/TE/MW/ME13AHPC4	550~700
S/TW/TE/MW/ME13AHPC5	700~900

- 注) 1.排気方向は上方・後方排気です。(後方排気の場合は別売のL型ダクトを使用)
 2.ダクトカバーは型名によって寸法が異なります。(ダクトカバー寸法一覽参照)
 3.後方排気の場合、製品高さ630mm以上必要です。
 さらに、電動シャッターを使用する場合は製品高さ650mm以上必要になります。

仕様 (続き)

■ 姿図 (単位: mm)

サイドフードタイプ

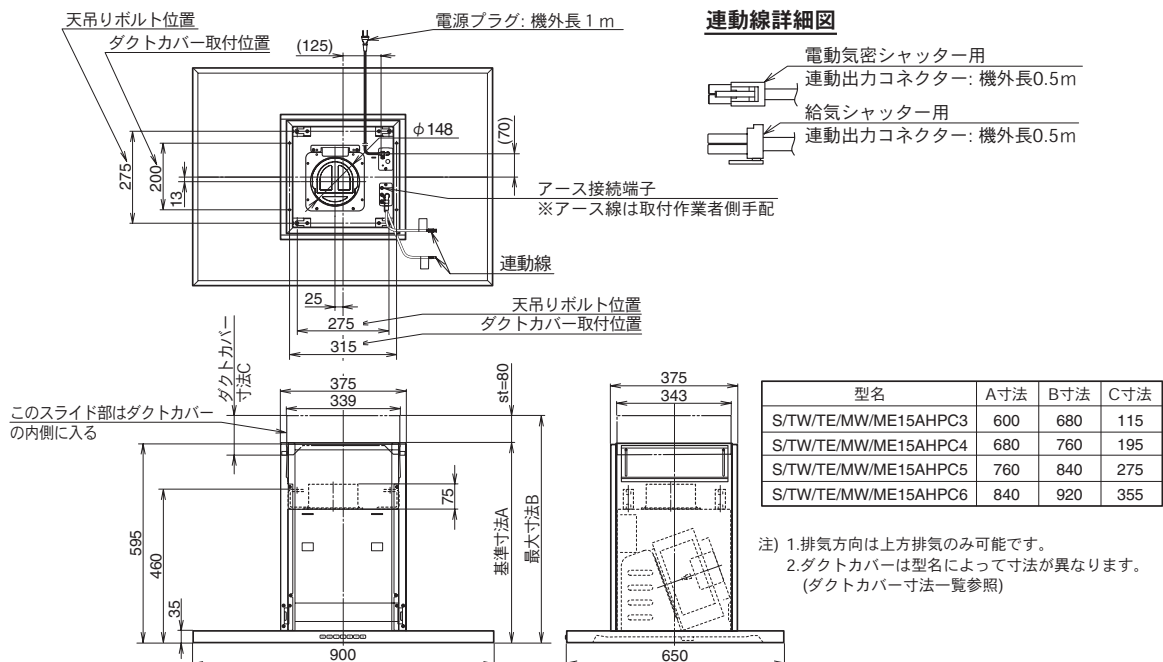


別売ダクトカバー使用時寸法

型名	H寸法
S/TW/TE/MW/ME14AHC4	550-750
S/TW/TE/MW/ME14AHC5	700-900

- 注) 1.排気方向は上方・後方排気です。(後方排気の場合は別売のL型ダクトを使用)
 2.ダクトカバーは型名によって寸法が異なります。(ダクトカバー寸法一覧参照)
 3.後方排気の場合、製品高さ630mm以上必要です。
 さらに、電動シャッターを使用する場合は製品高さ650mm以上必要になります。

センターフードタイプ



- 注) 1.排気方向は上方排気のみ可能です。
 2.ダクトカバーは型名によって寸法が異なります。(ダクトカバー寸法一覧参照)

保証とアフターサービス

(よくお読みください。)

1. 保証書

22 ページが保証書となっています。保証書に記載されているように、一定期間、一定条件のもとに無料修理致します。保証書をなくされますと、無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。

●**保証期間は** 商品お引き渡し日から1年間です。

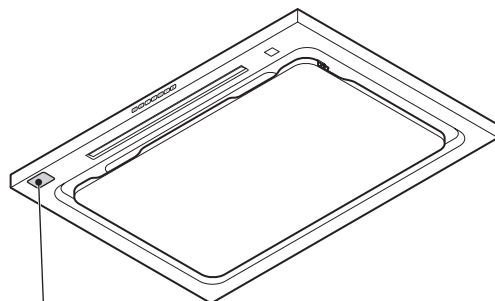
※ 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は対象外となります。

2. 修理を依頼される時

万一故障と思われることがありましたら、「故障かな？」(17 ページ参照)に従ってご確認ください。なお異常のあるときは、分電盤のブレーカーを切ってお買い上げの販売店・工事店または修理ご相談窓口(23 ページ参照)へお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。

また、消耗品など部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」(23 ページ参照)へお問い合わせください。お買い上げの販売店・工事店へ修理のご依頼ができない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフード
品番	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	





レンジフードの品番は、本体の左側面に表示してあります。

●**保証期間中は** 保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●**保証期間が過ぎているときは** 修理により「レンジフード」の機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理致します。(修理料金：部品代+技術料+出張料)

●**補修用性能部品の保有期間** 製造打ち切り後7年間です。(性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。)

 警告	 分解禁止	<ul style="list-style-type: none">● 絶対に分解・修理は行わない。 発火や感電、異常動作してケガのおそれがあります。● 修理はお買い上げの販売店・工事店または修理ご相談窓口へご相談ください。
---	---	--

3. アフターサービスについて

アフターサービスについては、お買い上げの販売店・工事店または修理ご相談窓口へお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。

また、消耗品等部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後は、有料修理となります。
(修理料金：部品代 + 技術料 + 出張料)

修理をご依頼の際、連絡していただきたい内容

- ・ お名前、おところ、お電話番号
- ・ 商品名(本書表紙に記載)、品番
- ・ 取り付け年月日
- ・ 不具合箇所、不具合内容(詳しく)

保証書

保証書

レンジフード

品番	S13BHWZF	TW13BHWZF	TE13BHWZF	MW13BHWZF
	ME13BHWZF	S14BHWZFR	TW14BHWZFR	TE14BHWZFR
製造番号	MW14BHWZFR	ME14BHWZFR	S14BHWZFL	TW14BHWZFL
	TE14BHWZFL	MW14BHWZFL	ME14BHWZFL	S15BHWZF
	TW15BHWZF	TE15BHWZF	MW15BHWZF	ME15BHWZF

出張

保証期間	商品引渡し後1ヵ年	お引き渡し	年 月 日
★お客様	ご住所	〒□□□□□□□□	
	お名前	様 TEL ()	
★販売店	住所	TEL ()	
	店名	TEL ()	



または
サイン

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

< 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で1年以内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
(ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 取扱説明書、本体注意ラベルまたはその他の注意書きを守らずに発生した故障および損傷
 - 消耗部品（フィルター・電池）の取り替えや修理、保守などの費用
 - 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合（例）ファン、フィルターなどの汚れ など
 - 経年変化または使用に伴う磨耗・サビ・かび・変質・変色・その他類似の事由による場合
 - キズなどの外観の不具合で、引き渡し時に申し出がなかったもの
 - 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例）ハウスクリーニング業者が指定の洗浄剤以外のクリーニング剤使用による変色や腐食 など
 - 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの行為に起因する不具合・故障および損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
 - 車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
 - 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
 - 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用による故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変および公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）または戦争・暴動などの破損行為などによる故障および損傷
 - 取付設置説明書に記載された方法以外の取付内容に起因する故障および損傷
 - 建築躯体の変形など対象商品本体以外の不具合に起因する故障および損傷
 - 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - 商品添付の保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は23ページをご参照ください。
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」（21ページ）をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

パナソニック株式会社 水廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真 1048番地 TEL 06(6908)1131 (代表)

製造元

富士工業株式会社

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号 TEL 042(753)1001 (代表)

お客様ご相談窓口のご案内

■ 転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命は

ハイ・パーツショップサイト [ハイ・パーツショップ](https://sumai.panasonic.jp/parts/) <https://sumai.panasonic.jp/parts/>

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

フリーダイヤル  **0120-055-802**

※携帯電話・PHS からのご利用になれます。

【受付時間】月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00

※GW 休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1224**

修理のご用命は

**パナソニック ライフソリューションズ
修理サービスサイト**

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00
日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

フリーダイヤル  **0120-872-150**

※携帯電話・PHS からのご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**

商品の
お問い合わせは

**パナソニック
住まいの設備と建材サポートサイト**

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

【受付時間】365日 / 9:00～18:00

フリーダイヤル  **0120-878-709**

※携帯電話・PHS からのご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1109**

●FAX ……………フリーダイヤル  **0120-872-460**

音声ガイダンスを
短くするには

案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「1#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口における
お客様の個人情報の
お取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

- ※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります。
 【設計上の標準使用期間】 10年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- ※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 「経年劣化とは」
 長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本産業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付設置説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所 2 410時間/年	
注 ^{a)}	常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。		

パナソニック株式会社 水廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真 1048番地

製造元

富士工業株式会社

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号